

平成22年度 第21回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成22年12月1日(水) 14:35～

場所：理学部 E210 講義室

講師：坂本 尚昭先生（広島大学大学院理学研究科・准教授）

演題：遺伝子の仕切りであるインスレーターの作用機構

真核生物のゲノム上には多数の遺伝子が隣接して存在しており、個々の遺伝子は固有の発現パターンを示す。しかし、遺伝子の転写調節を担うエンハンサーやサイレンサーは、距離や方向に関係なくプロモーター活性に影響を与えることが知られている。したがって、秩序のある転写調節が行われるためには、エンハンサー／サイレンサーからの不適切なシグナルを遮断し、その影響を特定の遺伝子に限定する必要がある。このような遺伝子の仕切りとしてはたらく DNA 上の領域が、インスレーターである。我々は、バフンウニのアリルスルファターゼ遺伝子 (*HpArs*) 遺伝子上流域においてインスレーター活性を示す領域 (*Ars* インスレーター) を同定しており、その作用機構の解明および遺伝子導入技術への応用を目指して研究を行っている。本セミナーでは、インスレーター作用の一般的な分子機構について概説するとともに、*Ars* インスレーターの作用機構について近年得られた知見について紹介する。

なお、都合の合う先生方や M2 以上の大学院生のみなさんも是非ご参加ください。

連絡先：島田 裕士(理学研究科 数理分子生命理学専攻 内線:7450)